

2022年11月7日

各 位

株式会社三井住友銀行

霞ヶ関キャピタル株式会社への「グリーン/ソーシャルローンフレームワーク」の策定支援
及びシンジケーション形式による「ソーシャルローン」の組成について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠/以下、「三井住友銀行」）は、サステナビリティ・コーディネーター*として、霞ヶ関キャピタル株式会社（代表取締役：河本 幸士郎/以下、「霞ヶ関キャピタル」）の「グリーン/ソーシャルローンフレームワーク」（以下、「本フレームワーク」）策定支援を行うとともに、霞ヶ関キャピタルがアセットマネージャーを務めるSPCに対し、本フレームワークに基づくシンジケートローン形式のソーシャルローン（以下、「本ローン」）を組成いたしました。

ソーシャルローンは、企業等が社会問題の解決に貢献する事業（以下、「ソーシャルプロジェクト」）に要する資金を調達する際に用いられる融資であり、具体的には、①調達資金の使途がソーシャルプロジェクトに限定され、②調達資金が確実に追跡管理され、③それらについて融資後のレポートングを通じ透明性が確保されたものを指します。

霞ヶ関キャピタルは、創業から続く「社会的意義がなければ成長性は持続しない」との認識のもと、「成長性のある事業分野」かつ「社会的意義のある事業」を自らの事業フィールドとして定義しており、「その課題を、価値へ。」の経営理念のもと、社会課題の解決に資する事業に取り組むことで、SDGsの目標達成に貢献することを企業目標として掲げています。

本フレームワークは、ホスピス住宅投資における一連（物件の企画・開発・運用と当該物件を拠点とした医療・介護サービスの事業運営に至るまで）の負債性調達を目的としており、本ローンで調達される資金は、北海道札幌市におけるホスピス住宅2件の開発資金に充当される予定です。在宅に近い居住環境で医療や介護を受けたいとのニーズに対して施設やサービスの供給量が不足する現状を踏まえ、霞ヶ関キャピタルは2021年12月よりヘルスケア事業に参入しています。ヘルスケア事業は、ホスピス住宅の企画・開発・運用とホスピス住宅を拠点として展開する訪問介護・訪問看護・居宅介護支援を提供することを目的としており、事業を通じて実現しようとする社会面の目標は、終末期医療や在宅看護、在宅介護を必要とする利用者にその人らしい生活を安心して送れる場を提供することであり、自治体における地域包括ケアシステム推進の一翼を担うものであると考えています。

本フレームワークは、LMA（Loan Market Association）、APLMA（Asia Pacific Loan Market Association）及びLSTA（Loan Syndications and Trading Association）にて策定された「ソーシャルローン原則」との適合性について、第三者機関である株式会社格付投資情報センター（R&I）から「セカンドオピニオン」を取得しています。

SMBCグループでは2021年7月27日に「SMBC Group GREEN Innovator」のコンセプトを公表し、社会のサステナビリティをお客さまとともに実現するためのサービス・商品の提供に一層注力してまいります。また、三井住友銀行では、お客さまのサステナビリティ経営に向けたソリューションの提供や対話を行い、持続可能な社会及び市場の形成にも一層貢献を行ってまいります。

【本ローンの概要】

借入人	合同会社ごっばち
契約締結日	2022年11月1日
実行日	2022年11月7日
アレンジャー兼エージェント	三井住友銀行

組成金額 総額 21.23 億円
貸付人（融資金額順） 三井住友銀行、旭川信用金庫、株式会社七十七銀行、北星信用金庫、留萌信用金庫

(※) サステナビリティ・コーディネーター：
ソーシャルローン組成・設計にあたって、借り手のフレームワーク策定等の支援を行う機関。

(参考)

霞ヶ関キャピタルホームページ ニュース一覧：
<https://kasumigaseki.co.jp/news/>をご参照下さい。
株式会社格付投資情報センター（R&I）による「セカンドオピニオン」の詳細：
<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/socialfinance/index.html>をご参照下さい。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】
サステナブルソリューション部
TEL：03-4333-6964

このお知らせは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。